

**令和元年度 第2回 橋本市子ども・子育て会議
議事録**

開催日時	令和元年9月5日（水） 午後6時30分～午後8時00分
開催場所	保健福祉センター3階 多目的ホール
出席者 （委員）	佐々木委員、戸島委員、中澤委員、松井委員、古井委員、西山委員、 小弓場委員、守安委員、前迫委員、藪本委員、吉田委員、阪口委員、 武藤委員
欠席者	佐々木委員、松岡委員
事務局	健康福祉部：こども課 岡課長、藤本課長補佐、和田係長、城野係長、井 上主幹、坂頭主幹、北岡課長補佐 福祉課 寺田課長 いきいき健康課 久保課長、上西係長 子育て世代包括支援センター：坂口所長、井上係長、壺井係 長 教育委員会：教育総務課 正林課長、岩坪係長、久保田主査 学校教育課：森口課長、松本課長補佐 生涯学習課：坂口課長
議題	（1） はしもと子育てcafé（ワークショップ）の報告について（資料1） （2） ニーズ調査結果及び実績に基づく子ども・子育て支援事業の見込量 について（資料2-①、②） （3） 第2期橋本市子ども・子育て支援事業計画骨子案について（資料3）
資料	1. はしもと子育てcafé（ワークショップ）まとめ（資料1） 2. 子ども・子育て支援事業の量の見込みについて（資料2-①） 3. 子ども・子育て支援事業の実績と見込み（資料2-②） 4. 子ども・子育て支援事業量の見込みについて （資料2-①・②補足資料） 5. 第2期橋本市子ども・子育て支援事業計画骨子案（資料3）

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	開会
事務局	皆さん、こんばんは。 定刻となりましたので、ただいまから令和元年度第2回橋本市子ども・子育て会議を開会いたします。 それでは、開会にあたりまして、健康福祉部こども課課長よりご挨拶申し上げます。
こども課長	あいさつ
事務局	なお、本日、2名の委員が、ご都合がつかず欠席されておられます。 それでは、本日の会議の資料について確認させていただきます。
事務局	報告事項は以上となります。 それでは、議題に入りたいと思います。 会長、以後の進行をよろしくお願いいたします。
	議題 (1) はしもと子育て café (ワークショップ) の報告について (2) ニーズ調査結果及び実績に基づく子ども・子育て支援事業の見込量について (3) 第2期橋本市子ども・子育て支援事業計画骨子案について
会長	早速ですが、議題のほうに移っていきます。 本日会場にワークショップの成果としてシートや模造紙が展示されていますが、議題(1) はしもと子育て café (ワークショップ) の報告について説明を、事務局からお願いいたします。
事務局	資料1について説明
委員	私もワークショップに参加させていただきましたが、自分の意見や考えを持っているお母さん、お父さんが多いと感じました。ワークショップのような場に出てくる人は自分の意見や考えを出したいと思っている人ですが、考えや思いを外に出せない人のことも考えなければなりません。

	ワークショップでも課題として挙げられていましたが、公園や子どもの土日の居場所づくりに取り組む計画となっていてほしいです。
議長	ありがとうございます。 このワークショップは初めての取組ということでしたが、今後も継続して取り組む予定でしょうか。
事務局	参加された方からの反響も受け、次の開催を検討したいと考えています。 今回のワークショップでは制度に関する意見が多く寄せられるかと思っていたのですが、公園等のハード面に関する意見がたくさん挙がっていました。ハード面に関する意見については、担当課であるまちづくり課に伝えておまして、今後改善に努めたいと思っています。
議長	ありがとうございます。ワークショップの結果については、シート等を掲示していますので、会議終了後にぜひご覧いただければと思います。 それでは、次の議題に移ります。
事務局	資料2-①、②、資料2-①・②補足資料について説明
議長	アンケート調査結果やこれまでの実績に基づくニーズ量の算出ということでした。この数値に関してご議論いただければと思うのですが、少し難しい内容かもしれません。 今回示されているサポートセンターの実績と見込みの乖離についてですが、困難を抱える家庭を支援するということが重要ですので、実績に基づいて見込みを検討していくことが必要だと思います。
事務局	サポートセンターについては、見込みが実人数、実績が延べ人数となっており、算出方法の違いをしっかりと把握し調整したいと思います。
委員	子どもの人数が減っていることから、見込量も減少しています。一方、実績を見ますと右肩上がりで伸びている事業があり、子どもは減っているものの、家庭の事情で子どもを家でみるできないケースが増加していると考えられます。このような背景を踏まえながら、事務局だけでなく担当課と調整しながら、見込量を検討していただければと思います。 また、橋本市の学童では施設が老朽化しているケースもあります。行政には、このような現場もみたうえで、子どもが暮らす現状を考慮して支援に努めていただきたいと思います。
議長	高いニーズに応えるだけでなく、質の確保も必要だというご意見でした。事

	務局はいかがでしょうか。
事務局	人口推計が減少しているため、お示ししている見込量は減少しているものばかりとなっています。この見込みが果たして本当なのか担当課と調整・検討したいと思います。
委員	仕事をしているから子どもを長時間預かってほしいとよく聞きますので、2号認定の利用が増えると思います。子育てをしながら働く人が一定いることから、無償化による影響を考えて見込量を算出してもらいたいです。 また、子どもが病気のときに、今通っている園以外に預けることは不安だと思います。病児保育や病後児保育について、利用したくないと考える人が一定いると考えられますし、制度を知らない親もいるのではないのでしょうか。
委員	橋本市の病後児保育について、計画値と実績に乖離があるのは、委員の仰る通り、制度を利用したくないと考える人がいるからというのもあると思います。 病後児保育に関わっていますが、ほとんど開店休業状態にあります。セーフティネットとして病後児保育が必要ですが、維持するためにはコストがかかります。 病後児については、保育園等でみてもらえますので、病児保育の施設を整備した方が、効果があると思います。 橋本市では子どもが病気等の理由で会社を休むことについて、会社側からの理解がありますので、施設維持に係るコスト等も含めて事業の検討をお願いしたいです。
議長	橋本市では病児保育をやっているのでしょうか。
事務局	病児保育をやっていないというのが現状です。市民病院を新築した際に病児保育のためのスペースを確保し整備することができませんでした。現在、病児保育の施設を確保することは現実的ではありません。
委員	地域子育て支援について、月に1回だけ来る人もいれば、何度でも来る人もいます。 子育て支援センターであかちゃんひろばを始めたことで、これまでセンターに来てなかった人が来るようになりました。
委員	地域子育て支援拠点事業に子育てサークルは含まれるのでしょうか。

事務局	子育て支援センターの事業だけを対象としており、子育てサークルは含んでいません。
委員	公民館の利用をしています、無料のため助かっています。学童保育は有料で、学童により保育料に違いがあるときいています。一方で、子どもを預けたいと思う時間と公民館が開く時間に差があるため、特に夏休みなど子どもを待たせるのは不安です。公民館の利用について、ニーズを聞いた上で、開館時間等を調整してもらえないでしょうか。(児童館についての質問であり、確認のうえ開館時間等について別途お伝えする。)
事務局	公民館は地域のコミュニティとなっており、サークル活動が中心となっています。公民館には様々な設備がありますので、多様な方に利用してもらいたいです。
議長	他に質問や意見がなければ、次の議題に移ります。
事務局	資料3について説明
議長	計画骨子についてですが、これまでは7本の柱となっていた施策を4本に整理したということです。 いかがでしょうか。
事務局	もし意見等がないようでしたら、この骨子をもとに内容を肉付けし、次回の会議で検討いただきたいのですが、いかがでしょうか。
議長	特に異議等ありませんでしたので、骨子案について承認ということで進めたいと思います。 以上で、3つの議題の審議が終わりましたので、その他について事務局にお願いします。
事務局	団体ヒアリング、次回会議の日程の目安、幼児教育・保育の無償化、1号認定子どもの通園区域、令和2年度入園児の募集案内、児童発達支援事業たんぽぽ園の新築移転計画について報告

議長	進行にいたらないということもあったかと思いますが、委員の方々のご協力により、予定時間内にすべての項目を終えることができました。
事務局	これをもちまして、令和元年度第2回橋本市子ども・子育て会議を閉会させていただきます。ありがとうございました。お気をつけてお帰りください。